



運動会を経て育つ 身体を動かす喜び

今年の運動会は、まつのき保育園が開園して初めて、0歳～5歳までの子どもたちが揃って行いました。子どもたちが、返事をしたり、種目に向かったりしている姿を見て、自然と拍手が起こり、園のみんなで子どもたちの姿や成長を喜び合っている一体感を感じ、嬉しく思いました。

乳児クラスの子どもたちは、ハイハイや歩行、走る、登る、滑る、降りると年齢毎の発達に合わせた種目を行いました。子どもたちの姿から、先の見通しや少し前の我が子の姿と重ねる場面もあったのではないのでしょうか。

幼児クラスの子どもたちは、前転や鉄棒、手押し車等といったそれぞれの課題へ挑戦しました。また仲間と相談し、作戦を考え仲間関係を育みながらレーや綱引き等、みんなで力を合わせる種目にも取り組みました。勝負に向かいながら、お互いの姿を認め合い、思いを交流し、支え合えるような仲間づくりができたことが、今後の生活や遊びにつながっていきます。

そして、皆様の温かい眼差しや声援を受けて、運動をすることが楽しいと思えた子どもたちは、日常に戻った今も楽しく身体を動かしています。

ひよこ組のSちゃんは、事務所前の廊下や階段を自分から動いて楽しんでます。年長児の逆上がりを見て刺激された年中児が逆上りに挑戦しようとする姿を見かけるようにもなりました。それ以外に鬼ごっこやサッカー等、それぞれが身体を使って好きな遊びを楽しんでいます。

私は運動会の目標は、運動が好き・楽しいと思える心を育むことだと思っています。人にはそれぞれ得手・不得手がありますが“〇〇が好き”“〇〇が楽しい”と思えることは、その人の人生を豊かにします。身体を動かすにはちょうど良い気候になってきました。運動会を経て、身体を動かす喜びを覚えた子どもたちの気持ちに寄り添って保育していきたいと思えます。



保護者の活躍で、大人も子どもも、仲間とつながる機会に

運動会の2部では、実行委員の皆様が、玉入れと綱引きを企画・運営をやってくださり参加していただいた保護者の皆様も職員もみんな楽しんでできました。綱引きをやっている時に、自然と子どもたちが一生懸命に応援してくれていて、大人の真剣な姿を見ることは、子どもにとっても貴重な経験になることを感じました。

勝ち負け以上に、みんなで一緒のことをしている一体感を味わうことができました。

ハロウィンでは、きしゃぽっぽに撮影用の飾り、にじの部屋に子どもたちがくぐって遊べるコースを作ってくださいました。お菓子も人数分用意してくれました。事前に保護者の方たちで役割分担等、話し合いをしてくれたおかげで、参加された方は仮装や撮影等を楽しんでいました。子どもたちも、いつもとは違う格好に、嬉しそうでした。

山登りでは、幼児クラスの保護者が参加してくださいました。異年齢のやま・うみ・そらのチーム毎に、細江神社から細江公園、二月峠の展望台までの道のりを行いました。参加された方たちは、ご自身のお子さんと一緒に、そのお友だちとも手をつないだり、励ましたりしてくれ、子どもたちも安心して登ることができました。



【険しい山道も励ましと支えの安心感で登ります】

まつのき保育園では、保護者の方が活躍する様々な機会があります。それは、保護者の方が保育園を通じてつながり合い、地域や身近なところに子育ての事、家庭の事、仕事の事等を安心して話せる、仲間作りをして欲しいからです。

そして、親のつながりは、子ども同士のつながりに大きく影響します。卒園した子たちが、学校はバラバラになっても親同士がつながっていると、中高生になって自分たちでつながっていきます。赤ちゃんの時から知っている、気心しれた仲間がいるのは子どもにとっては大きな宝です。

来月は、餅つきや親睦会を企画しているところもあります。保護者の皆様も、子どもの保育園時代と一緒に楽しんでいただきたいと思います。